

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度(評価)
A: 十分達成できている
B: おおむね達成できている
C: やや不十分である
D: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要
・コロナ禍の中、様々な課題に向かい、工夫しながら組織で教育活動を進めることができた。
・共通理解・共通実践をもとに教職員の指導力向上を図ると共に、児童主体の活動を活性化させる体制づくりを目指す。
・GIGAスクール構想を念頭に、PCやタブレットを有効活用し、学力向上を図るとともに、児童の学力向上につながるような校内研究に取り組む。
2 学校教育目標
『体を強く 心賢しく 学び合う せんだんの子』の育成
<健康や安全に気を付けた生活や行動ができる子ども> <生命あるものを大切に、思いやりの心をもつ子ども> <自ら学ぶ意欲をもち、人と関わりながら、学び合っていく子ども>
3 本年度の重点目標
① 落ち着いた学習環境をつくり、学力の確実な定着と学習意欲の向上を図る。
② 校内外において基本的な生活習慣を身につけさせ、健康で明るい生活態度を養う。
③ 自己肯定感を高め、「自分を好きに」「人を好きに」「学校を好きに」「ふるさとを好きに」なる児童の育成を図る。
④ 校務の効率化を図り、教員の質の向上を目指す。

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1) 共通評価項目
重点取組 成果指標(数値目標) 具体的取組 中間評価 最終評価 学校関係者評価
●学力の向上
●心の教育
●健康・体づくり
●業務改善・教職員の働き方改革の推進

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組 成果指標(数値目標) 具体的取組 中間評価 最終評価 学校関係者評価
○教職員の資質向上
○特別支援教育の視点に立つ学級づくり
○ICT活用

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望
・コロナ禍の中、様々な課題解決や教育活動推進に向けて、それぞれの担当を中心に組織で進めることができた。
・共通理解・共通実践により教職員の指導力向上を図ると共に、児童主体の活動を活性化させる体制づくりを目指す。
・GIGAスクール構想を念頭に、タブレットを計画的かつ頻繁に活用し、学力向上を目指す。
・児童の学力向上につながるような授業改善、校内研究に継続して取り組む。